



覧

令和7年5月30日

日本赤十字社酒々井町分区
分区長 小坂 泰久
(公印省略)

令和7年度赤十字活動資金の募集について（お願い）

赤十字事業の推進につきましては、平素より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社は「人の命と健康、尊厳を守る」ことを基本理念として、世界の紛争犠牲者や自然災害の被災者に対する緊急救援活動など、様々な人道的活動を展開しております。

また、国内においても、大規模災害時の医療・救護活動や救援物資の提供、奉仕団や防災ボランティアによる炊き出しなど、被災地での様々な活動や、救急法の普及、血液事業などを行っており、皆様からお寄せいただいた活動資金が、これらの赤十字活動の財源となっております。

特に毎年、5月・6月は赤十字運動月間となっております。

酒々井町分区では、赤十字の基本理念に基づき各区・自治会を通じて住民のみなさまに活動資金のご協力をお願いしております。

赤十字事業の趣旨にご賛同いただき、活動資金の募集にご協力くださるようお願いいたします。

なお、活動資金の募集は強制ではありませんが、各ご家庭においては、目安として1世帯500円のご協力をいただけると大変ありがたく存じます。

【問合せ先】 酒々井町社会福祉協議会
住 所：酒々井町中央台4-11
電 話：496-6635

回覧

令和 7 年 5 月 3 0 日

日本赤十字社酒々井町分区
分区長 小坂 泰久
(公印省略)

令和 7 年度赤十字活動資金の募集について（お願い）

赤十字事業の推進につきましては、平素より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社は「人の命と健康、尊厳を守る」ことを基本理念として、世界の紛争犠牲者や自然災害の被災者に対する緊急救援活動など、様々な人道的活動を展開しております。

また、国内においても、大規模災害時の医療・救護活動や救援物資の提供、奉仕団や防災ボランティアによる炊き出しなど、被災地での様々な活動や、救急法の普及、血液事業などを行っており、皆様からお寄せいただいた活動資金が、これらの赤十字活動の財源となっております。

特に毎年、5 月・6 月は赤十字運動月間となっております。

酒々井町分区では、赤十字の基本理念に基づき各区・自治会を通じて住民のみなさまに活動資金のご協力をお願いしております。

赤十字事業の趣旨にご賛同いただき、活動資金の募集にご協力くださるようお願いいたします。

記

期 間	5 月 1 日～6 月 3 0 日
納 入 方 法	ご協力にあたっては、1 世帯 5 0 0 円を目安に 社会福祉協議会までお願いいたします。

【問合せ先・納入場所】 酒々井町社会福祉協議会
住 所：酒々井町中央台 4－1 1
電 話：4 9 6－6 6 3 5

誰かを支える手のひらは あたたかい



被災者を支える医療スタッフ（令和6年能登半島地震）

赤十字活動資金への ご協力をお願いします

赤十字の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

千葉県支部

災害からいのちを守る赤

毎年のように発生し、被害が甚大となっている自然災害。

赤十字は、いかなる状況下でもいのちと健康を守るため、苦しんでいる人を救う活動をして



避難所で巡回

災害救護

救えるいのちを確実に救う

医療救護

災害発生時には、被災地に医療チームを派遣し、被災者の医療救護活動を行います。



成田で実施した総勢500人参加の大規模訓練の様子

平時は
訓練に参加し
備えています！

令和6年度

災害に備えた訓練・研修への
参加者数(千葉県内)

約1,400人

救援物資の配布

平時から毛布などの救援物資を整備し、災害発生時には被災者に配布します。

被災者のための救援物資

緊急セット

家族4人程度が生活に必要な日用品(タオル・ティッシュ・懐中電灯・携帯ラジオ・救急絆創膏・歯ブラシ・マスク・軍手など)が入っています。

安眠セット

避難所などで少しでも快適に眠れるようにマット・枕・アイマスク・スリッパ・耳栓などが入っています。

令和6年度

被災者に配布する毛布の備蓄数(千葉県内)

十字

います。



診療を行う医療チーム
（令和6年能登半島地震）



27,000枚

講習普及

いのちと健康を 守る方法を伝える



AEDを用いた心肺蘇生や怪我の
応急手当の方法などを普及して
います。

令和6年度

各種講習会の受講者数(千葉県内)

約**33,000**人

赤十字ボランティア

救いたい思いが 被災者を支える



災害発生時、炊き出しや物資の仕
分けなど、さまざまな奉仕活動で
被災者を支えます。

令和6年度

赤十字ボランティアの数(千葉県内)

約**6,000**人

防災教育

「救われる側」から 「救う側」へ



防災セミナーを開催しているほ
か、子どもたちが自分の身を守れ
るように防災プログラムを普及し
ています。

令和6年度

防災セミナーの受講者数(千葉県内)

約**1,800**人

赤十字活動は、国や県からの公的資金によらず、
すべて皆様からお寄せいただく活動資金により支えられています。
昨年度も皆様からのご支援により、苦しんでいる人を救う活動ができました。

今年度も活動資金への ご協力をお願いします

ご あ い さ つ

赤十字活動の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、町内会・自治会役員の皆様方におかれましては、日頃から地域の発展にご尽力されておられますことに対し、心から敬意を表します。

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、人のいのちと健康、尊厳を守ることを使命として、世界191の国と地域に組織された赤十字・赤新月社と連携し、国内外において様々な人道的活動を展開しております。

当支部におきましても、千葉県内における赤十字活動の主体として、本年度も災害発生時における医療救護活動や救援物資の配布、防災・減災の啓発活動やいのちを救う救急法等の赤十字講習会の普及、赤十字ボランティアや豊かな心をもった青少年の育成等に取り組んでまいります。

こうした赤十字の活動は公的資金によらず、日本赤十字社の設立以来、今日まで皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられており、中立・独立の立場で人道的活動を行うにあたり必要不可欠なものです。

つきましては、赤十字の使命をご理解いただき、何卒貴町内会・自治会の皆様に活動資金へのご協力を賜りますよう、役員の皆様方のお力添えをお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

令和 7 年 5 月 30日

町内会・自治会役員 各位

日本赤十字社千葉県支部長

